

## 令和7年度 意見交換会（案）

令和8年1月時点

### テ ー マ

「もしものときのために～聞こえない・聞こえにくい方と一緒に学ぶ避難訓練～」

### 目 的

災害時に聞こえない・聞こえにくい方が感じる不安や求める支援について確認し、避難訓練を通して情報の伝達方法や支援方法について、お互いに理解を深めることを目的とする。

### 実施方法

1 日 時 令和8年3月14日（土） 13:00～16:00

2 会 場 旭川市障害者福祉センターおびつた 体育館

3 対 象 市民対象 50名程度（8～9人×6グループ）

広報誌、ホームページほか聴覚障がい者と関わりのある関係機関に周知する。

#### 4 実施内容（案）

##### （1）避難訓練

<80分>

- ・災害で避難指示が発令された場合を想定し、ろう者に避難の必要性を伝え、おびつた各階から避難所（体育館）まで避難する。
- ・避難所で流れた音声案内をジェスチャー等でろう者に伝える。
- ・ろう者から聞こえる人へ、ジェスチャー等で困りごとや欲しいものを伝え、聞こえる人が避難所本部に確認し、確認した内容をろう者に伝える（カードを引いて出たお題について伝える）。

(2) 講演「災害時におけるろう者への支援」 <20分>

- ・ろう者より、災害時や避難所にて求める支援について伝えてもらう。配給の際は文字でも伝えてほしい、どのように書けば高齢のろう者にも伝わるのか等。
- ・「逃げる」や「地震」、「寒い」、「痛い」等、緊急時に使える手話のレクチャー

(3) 段ボールベッドの作成 <20分>

- ・グループごとに、防災課職員の指導を受けながら、ろう者と聞こえる人が一緒に段ボールベッドを作成する。実際に寝てみる等体験してみる。

(4) グループで感想共有・発表、質疑応答 <35分>

- ・グループで感想を話し合い、出た意見を代表者が発表する。

5 予約の有無

予約制とする（当日参加は定員に満たない場合のみ可）

**タイムテーブル** ※おおよその目安

13:00～13:10	挨拶
13:10～14:30	避難訓練（80分）
14:30～14:45	休憩（イス配置）
14:45～15:05	ろう者からの講演、手話のレクチャー（20分）
15:05～15:25	段ボールベッドをつくろう（20分）
15:25～15:55	感想共有・発表（30分）
15:55～16:00	質疑応答（5分）

**その他**

- ・グループ形式で避難訓練を行うが、講演のときはイスを半円に移動し、自由に座って見てもらう（ろう者は手話が見えるよう前の席へ案内）。
- ・各グループに1名手話通訳者を配置するが、体験のときは通訳を介さずに行う。